



令和7年度 第1回

創薬サイエンス研究支援拠点 研究支援セミナー

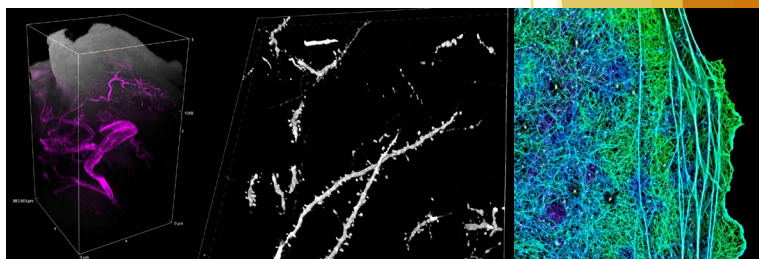
2025年8月28日（木）14：00～15：00

テクニカルセミナー



Nikon

超解像多光子共焦点レーザー
倒立顕微鏡



このたび創薬サイエンス研究支援拠点に導入された、ニコンソリューションズ『超解像多光子共焦点レーザー倒立顕微鏡』の解析原理や使用方法を紹介するテクニカルセミナーを開催します。

- 生きた細胞や組織の詳細な観察が可能な顕微鏡
- 高速・高解像度の3Dイメージングが可能
- 国内の導入事例は大阪大学 創薬サイエンス研究支援拠点のみ
(2025年7月現在)

詳しい内容は次ページでご確認ください。

※本機器は、共用機器として機器利用の準備を進めています。利用開始はHPでお知らせします。

事前申込
必要

開催方法：ZoomWebinarsを利用したオンラインセミナー

事前に参加申込が必要です。下記サイトからお申し込みください。

https://zoom.us/webinar/register/WN_QVZ6TaOkRia1rxwVi-I_xg



創薬サイエンス研究支援拠点ではAMED『生命科学・創薬研究支援基盤事業（BINDS）』の採択を受け、優れた研究の成果を創薬研究等の実用化につなげることを目的として研究支援を行っています。



国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
Japan Agency for Medical Research and Development



創薬等先端技術支援基盤プラットフォーム
Basis for Supporting Innovative Drug Discovery and Life Science Research

当拠点の研究支援について
詳しくはHPで紹介しています。



研究支援に関する
ご相談は随時受付中

超解像多光子共焦点レーザー倒立顕微鏡

本システムは、超解像多光子共焦点レーザー顕微鏡システムと、ローカリゼーション超解像顕微鏡システムのハイブリッド号機です。

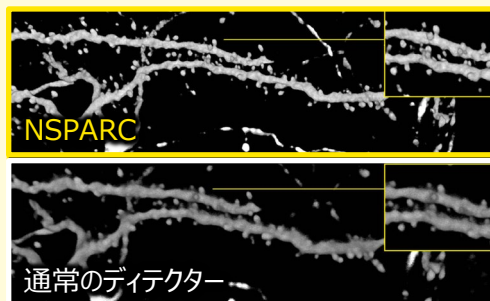
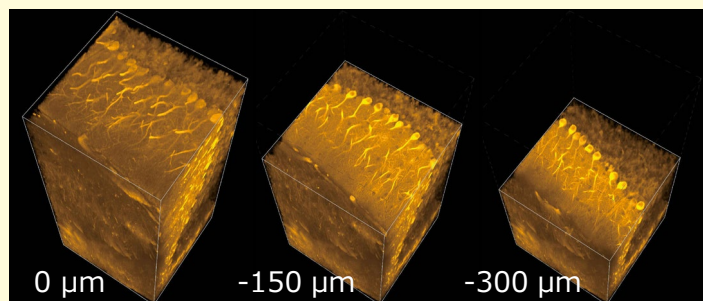
超解像多光子共焦点レーザー顕微鏡システム

AX R MP with NSPARC

長波長レーザーを使用することで、生体深部の微細構造を鮮明に可視化
超解像ユニットNSPARCにより詳細な空間情報を取得可能

深部でも鮮明に微細構造を観察可能
可視光での観察も可能

NSPARCユニットにより、従来の約2倍の分解能を実現

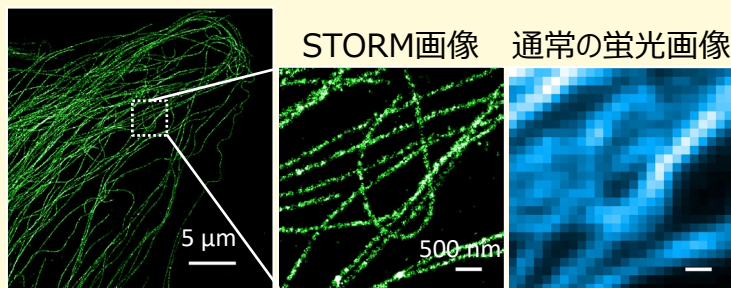


ローカリゼーション超解像顕微鏡システム

N-STORM

ローカリゼーション法という原理を用い、従来の光学顕微鏡の約10倍の分解能を実現

- ✓ XY方向の分解能 = 約20 nm
- ✓ Z方向の分解能 = 約50 nm
- ✓ 最大3色の多色イメージング
- ✓ 共焦点観察と超解像観察を簡単切替え



セミナー内容

第1部 顕微鏡の概要

- 光学顕微鏡とは
- 共焦点顕微鏡、多光子顕微鏡の違いとその特徴
- 超解像顕微鏡、NSPARCとN-STORMの違い

第2部 本システムの特徴

- AX R MP/NSPARC+N-STORMの特徴
- イメージング例のご紹介
- NIS解析の紹介

